学校の教育目標「美しい心をもち　自ら考え　たくましく　やりぬく子」

半布里

富加町立富加小学校　校長 小森 明彦
℡ 0574 - 54 - 3303　児童数 341 名
2018 年 12 月 4 日発行 学校だより号外

富加を誇りに思う



子どもたちの目にはどんなふうに映ったのでしょう。

１２月初日の土曜日、せっかくの休みにも関わらず、中にはお仕事の都合をつけて、大勢のご家族の方に富加小を参観いただきました。体育館では、子どもたちにどうしても見せたかったもの、富加町で活動している「よさこいチーム半布里(はぶり)」の演舞を一緒に見ていただきました。

私が半布里の演舞を初めて見たのは、３年前、この学校に赴任した年の資源回収の日、タウンホール広場での練習風景です。練習とは言え、すごい迫力でした。そして、このチームが富加町で活動しているということを知りました。１８年前、踊りを通じて地域や親子のつながりを深めようと２０数名の町民によって結成されたそうです。それが今では、名古屋市で開催される「にっぽんど真ん中祭り」で大賞をねらう岐阜県を代表するチームになりました。「こんなすごいチームが富加町にある」というだけで誇りに思いませんか。幸い、このチームを結成した当事者である坂井久子さんを運動会のソーラン指導にお招きすることができました。そして、家族参観日の場で、念願の演舞を披露していただくことができました。



「何とか入りました。ほっ♡」



続いて、全校児童３４１人による全校合唱を聴いていただきました。ご家族の皆様には、子どもたちの様子はどんなふうに映ったのでしょう。







１年生から６年生の子どもたちが、集まっていただいた家族を前に、精一杯の歌声を届けようとする姿に私は胸が熱くなりました。この子どもたちの一生懸命な歌声がじまんです。富加の子どもたちを誇りに思います。

冬の朝にも関わらず、大勢の方が子どもたちと一緒に歩いて登校してくださいました。普段通りの朝の教室風景を見ていただき、学年懇談会には１６２人（参加率６５．５％）の保護者の方に参加していただきました。

富加町という小さな町のたった一つの学校です。「学校が地域や家庭に支えられている」「町と学校と家庭がつながっている」そんなことを感じる一日でした。ありがとうございました。

